

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	電子情報設計プロジェクト						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたテーマに対して情報収集することで、求められる仕様を策定できる。(C1) ・仕様に基づいて設計・開発計画を立てて遂行できる。(C4) ・開発上の問題点等に関する報告書を作成し、ミーティングを通して解決策を図ることができる。(C4,C8) ・最終的な成果物に対して評価・検証できる。(C8) ・視覚化の技法やユーザインタフェース設計法を学んで、分かりやすく提示できる。(C1) ・成果物に対する報告書およびドキュメント作成ができる。 						
日程と内容	04/08 導入ガイダンス 04/15 これまでの得た知識による電子工作の取り組み方 04/22 回路設計の考え方 (1: 実例の紹介・検討) 04/25 回路設計の考え方 (2: 実例の紹介・検討) 05/13 グループ単位で情報収集(実例の調査・検討) 05/20 グループ討論(何を製作するか決定する) 05/27 製作に必要な素子のリスト化 06/03 ブレッドボードによる電子回路の構成(1) 06/10 ブレッドボードによる電子回路の構成(2) 06/17 ユニバーサル基盤での製作(1) 06/24 ユニバーサル基盤での製作(2) 07/01 ユニバーサル基盤での製作(3) 07/08 試作品の動作確認と検証 07/15 プレゼンテーションスライド作成 07/22 発表会						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			50%
	課題	50%		計			100%
	演習						
授業到達目標の達成度	授業達成目標のいずれの項目も概ね達成している。						
反省点	4つのテーマにグループ分けして学生の自主性を優先したため、グループ間の優劣や進捗状況に偏りが生じた。授業時間内で製作物を完成できない班もあり、毎回の進捗状況を報告書等で示すように指導すべきであった。						
来年度の計画	グループでの活動や学生の自主性を育む方向性は重要だと考えるが、15回の授業時間内で電子工作の成果物を製作できるように、要所要所で報告書を提出させて計画および実行性を学生自身に意識させるように指導する。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は7.7で全科目の平均を下回ってしまった。その原因として、グループとしての製作活動や学生の自主性を優先したため、全体的に成果物の遅れや回路設計の方向性等で数居が高すぎたと思われる。学生の自主性を重んじつつ、グループ単位でのサポート体制を強化して、与えられたテーマや問題を解決できるように工夫を施す必要があると考える。						
履修登録者数	14名	定期試験受験者数	14名	合格者数	14名	合格率	100%